

R3年度自己評価

真学園

評価項目	No.	内 容	評価平均	改 善 案
保育の計画性	1	園の教育・保育理念や目標を理解している。	4.7	園の教育・保育理念を、念頭に置いたうえで保育を行う。
	2	指導計画は園児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している。	4.6	興味や関心のある事柄を理解し、個々の成長段階をしっかりと把握したうえで作成していくようにする。
	3	園児の発想を柔軟に取り入れて、部屋や廊下、遊戯室などの装飾や展示を行っている。	4.4	子どもの発達段階を理解したうえで興味を持てるような装飾をすることを心掛けていく。
	4	自分の保育と計画の評価、反省について次の保育と計画に生かせるように行っている。	4.4	クラス・学年間でもよく話し合いをしながらより良い保育ができるよう計画の見直しをする。
幼児への対応	5	園児の言葉をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている。	4.8	時間や心に余裕を持ち、子どもの声に耳を傾けたり小さな変化にも気付いたり出来るようにする。
	6	万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師にみてもらうなど適切な処置を行っている。	4.8	怪我の経緯をすぐに伝え、連絡を取る必要がある場合は、速やかに対応し、丁寧に説明していく。
	7	園児を褒めたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている。	4.8	子どもを見る視点を変えてみて、自己肯定感を高められるような、言葉がけをしていく。
	8	園児の発達の個人差、入園した年齢の違いなどによる集団生活の経験年数の差、家庭環境等を踏まえ、園児一人一人の発達の特性や課題に十分留意している。	4.6	一人ひとり違う発達段階や、家庭環境があることを深く理解し関わっていく。
資質・能力・適性	9	服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心掛けている。	5.0	社会人としてふさわしい印象となるよう日頃から意識し、引き続き自己管理をしっかりと行っていく。
	10	子どものこと、クラスの出来事などで必要な事は園長や主任に報告、連絡、相談をしている。	4.9	一人で抱え込まず、小さな事でも報告・連絡・相談をし、解決に努める。
	11	職務上、知りえたプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	5.0	今後も徹底していく。
対応	12	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っている。また、動画配信アプリなどを取り入れている。	4.8	日頃から保護者とコミュニケーションをとったり、アプリなどで子どもの様子を伝え、相互理解を深められるようにする。
	13	園のすべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている。	5.0	好感を持てるような話し方、接し方を常に心がけていく。
	14	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については容易に受けたり断ったりせず、園長や教頭、学年主任等に報告や相談をしている。	4.9	曖昧な返答や、自分だけの判断が出来ない場合は必ず、報告・連絡・相談をし、解決に努める。
社会との関わり	15	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、理解している。	4.0	広報やメディアを通して、情報を得るとともに、日頃から地域の人とつながりを持つことを大切にしていく。
	16	卒園した子どもの情報を得るように努めている。	3.9	兄弟の保護者に話を聞いたり、新聞や学校便り、広報等に目を通すようにする。
研修と研究	17	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。	4.4	研修で得た知識や情報などは園に持ち帰り、職員間で共通理解を深めていく。
	18	園の遊具や教材について、どのような使い方が危険かが分かる。	4.8	子どもに目線に立ち、遊びがどのように展開するのか、危険はないのか予測する。
	19	園地、園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしている。	4.3	子どもと一緒に図鑑を見て調べるなど、子どもたちが身の回りの環境に興味を持つきっかけとなるような関わりをする。
	20	さまざまな変化の中で、園児にとって何が問題であるか、それに対してどのような教育や保育を行わなければならないかについて考えたり、学習している。	4.3	インターネットや研修、専門書など、様々なところから情報収集をし、広い視野を持つ。問題にどう対応していくのか一番いいか常に考え、解決能力を養う。

今年度の職員の自己評価の結果を公表し、保護者の代表として父母会役員の方々から主に以下の意見や感想をいただきました。貴重なご意見・ご要望を頂き、ありがとうございました。今後の運営や教育・保育に活かしていきたいと思えます。

《保護者の方々からのご意見》

○保育の計画性（評価項目1～4）

- ・教育プログラムに先生方の考えや理念を感じます。
- ・季節に合わせた装飾や子どもの作品などもあり、子どもと会話する場になっています。お迎えに行った際、展示物を見るのを楽しみにしています。かわいらしい装飾が目に残ります。

○保育の在り方・幼児への対応（評価項目5～8）

- ・言葉の発達や、その日出来るようになった事など、お話ししていただけるので成長を嬉しく思います。
- ・先生が話を聞いてくれることで「言ってもいいんだ」という自信に繋がると思えます。
- ・子どもたちと接する時間が多い先生たちだからこそ分かることもあると思うので、悪いことは悪いと伝えて導いてくださるとありがたいです。
- ・小さな怪我でも丁寧な説明があり、安心して子どもを預けられます。
- ・家で体操をいつも練習していて、先生方がどのようにすればいいのかを明確に教えてくれているからこそ自主的に練習が出来るのだと思えます。また、“頑張ったらできる”“諦めない”という言葉がよく出てきます。
- ・親以外の第三者から褒められたり、認めてもらえたりすることは子どもにとって非常に大きいことだと思えます。家ではやりたがらない事でも、友達に影響されて、子どものモチベーションに繋がるのではと思えます。

○教師としての資質・能力・敵性（9～11）

- ・職員のみなさん、身だしなみに気を付けているのが伝わります。

○保護者への対応（12～14）

- ・連絡をすると、小さなことでも気付いてくださり、その日のうちに報告や提案を頂きありがたいです。
- ・アプリ配信をしているが、踊りや歌っている様子だけでなく、普段の遊びの様子やお弁当の日の様子など、日常の自然な子どもの姿が見たいです。
- ・バス利用時には、先生とお話をする機会が少なく心配になることがありましたが、面談の時間を長くするなど、園での様子がもう少し分かるのではないかと思います。
- ・朝玄関で“おはようございます！”と迎えて下さる先生がいることに、子どもは安心しているようです。
- ・園長先生から直接ご連絡いただくことがあり、感謝しています。
- ・先生方にお会いする機会は少ないですが、明るく元気にこやかに接していただくととても気持ちがいいです。

○地域の自然社会との関わり（15. 16）

- ・卒園した子がその後どのように活躍しているかなどを知り、参考にして頂くことは大切だと思えます。
- ・樹木や草花の名前を先生から教えてもらったと、子どもから聞いたことがあります。

○研修と研究（17～20）

- ・様々な子どもの事故に関するニュースがあるので、これからも危険予測に努めて頂きたいです。

○その他

※駐車場の使い方や園庭の遊びについての意見も頂きましたので、適切な使い方を心掛けて頂きますようお願い致します。

※コロナ対策について意見も頂きました。当園では、文科省や県、市の指導により手指消毒をすることにしてますし、職員はマスクを着用しています。また、全クラスに空気洗浄機を設置し、1日3回は園内の消毒作業を行うなどして感染予防に努めています。いろいろなご意見もあろうかと思えますが、現状でご理解ください。